（法第26条関係「定款変更認証申請」）
（法第28条関係「書類の備置き」）
（法第29条関係「事業報告書等の提出」）

令和6年度の事業報告書

令和6年9月1日から令和7年8月31日まで

特定非営利活動法人SET

１　事業の成果

2024年度は、コロナ禍を経て交流事業が本来の姿へと戻っていった一年でした。「修学旅行民泊」で11校1,935名（延べ3,195名）、「個人・グループ民泊」で21団体284名（延べ365名）の受け入れを実施しました。約100軒の受入家庭が協力し、地域には体験指導料として20,065,600円が支払われました。市内23の事業者が民泊クーポン券に協力し、地域全体での受け入れ体制がさらに充実しました。2013年から続く大学生インターンシッププログラムでは陸前高田市内で５町目となる気仙町・今泉地区に進出しました。陸前高田市外に飛び出して行う関係人口プログラムが多様化しており、岩手県野田村、三重県南伊勢町にも、大学生が進出し始めています。暮らし事業で運営しているカフェでは、地域住民や遠方からの来訪者など延べ844名が来店し、カフェ営業やイベントを通じて、多世代が交わる時間が生まれました。研究部では2025年6月に関西学院大学で開催された日本NPO学会第27回研究大会にて実践報告を行いました。報告では、一戸町と岩手町で実施されたマイプロジェクトの伴走支援事業に参加する中高生のシビックプライドを高めていることを示しました。

２　事業の実施に関する事項
(1)　特定非営利活動に係る事業

事業名（定款に記載した事業）	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
交流事業（農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動）	震災後SET独自の自主事業に取り組み、岩手県内の自治体と連携して地域社会の変化を目指しています。県内・県外の大学生を中心に地域の魅力を引き出し、修学旅行受け入れで約9,000人の交流人口を創出。自治体職員や企業向け研修も実施し、地域づくりに貢献しています。地域との対話を通じ、ここで活動した若者が仲間として日本の未来を共に築いています。	令和6年9月1日～令和7年8月31日まで	陸前高田市・岩手町・葛巻町・一戸町・野田村・大槌町・山形県長井市・三重県南伊勢町	14名	関係人口128名ほど、プログラム参加者2385名ほど、関わった地域住民3001名ほど	76,650
暮らし事業（まちづくりの推進を	持続可能なライフスタイルづくりをテーマに、生き方やキャリアを学ぶ場を提供しています。森林	令和6年9月1日～令和7年8	陸前高田市	2名	関係人口8名ほど、関わっ	6,076

図る活動）	再生やパーマカルチャー、地産地消の食づくりなどを通じて多様な体験を創出。10年以上の交流を通したまちづくりの経験から、移住や地域コミュニティの再生を促し、自然環境の共同管理や青少年の成長機会を生み出しています。	月31日まで			た地域住民延べ844名ほど	
研究事業（前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動）	SETで生まれる変化を可視化し、社会に新たな視点を提案しています。若者や地域住民の意識変化を調査し、書籍や論文を通じて成果を発信。アカデミックボードを設立し、専門家と連携して実践知を理論化し、未来の社会に必要な新しいアプローチを提示しています。これまで10冊以上の書籍に掲載され、その成果が広く認められています。	令和6年9月1日～令和7年8月31日まで	陸前高田市・一戸町	3名	関係人口数1名	77

(2)　その他の事業
実施しなかった。

（Ａ４）